

○塔頭たつちゆう聴松院ちやうしようゐんの林泉風色幽雅にして、庭に礪礪の水鉢あり。又昔神夢想の名松あり、老木の太樹にてありしが近年衰枯して朽たり、故に植継あり。其銘曰、

南禅寺聴松院者惠鑑禅師所住也。会伝一夜夢北野神君賜以殊所珍賞松一株。覺後感銘無已。乃早洒掃庭内。地待之果。自菅家贈一盆松。与夢所見合云。此蓋我曩祖也。然不知其為誰向者。予有故遊于此寺。賞觀有年矣。青蒼鬱茂。株根数困。实是数百年物也。寛政辛亥。今住持正巖禅師乞予詩。之因賦一律。応其需。

青松百尺接天開。

曾入高僧夢裏來。

林下誰知奉神託。

庭前偏好挺凡材。

計年社風外潮音起。

仰德雲間龍影回。

元自奇句在人口。

千秋併賞賦中梅。

特進 菅原胤長